

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年2月8日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年2月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【作業に伴う通信ネットワーク障害の発生について】 主管グループにて光ケーブルのリルートに伴い、通信ネットワーク停止を回避するための回線へ接続をしたところ、この作業により通信ネットワーク障害が発生し、一部のパラメータの遠隔監視不可およびERSS※への影響が生じた。原因は、通信ネットワーク停止を回避するため設定が解除された状態で、回線へ接続したためと判明。 このため、接続した回線を元に戻し、通信ネットワーク障害を復旧した。 なお、一部のパラメータの遠隔監視不可およびERSSの情報は、現場盤での確認により、監視は可能であった。 今後、再発防止対策を検討する。</p> <p>※緊急時対策支援システム:原子力発電所と原子力規制庁間のデータ伝送システム</p>	G II	2月4日
2	<p>【2号機原子炉建屋西側構台内における負傷者の発生について】 2号機原子炉建屋西側構台内において、遠隔重機のクローラ※交換を実施していたところ、協力企業作業員が右手薬指を駆動部に挟み負傷した。 救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、応急措置として3針縫合した上で救急車を要請し搬送。 医療機関にて、右環指末節骨開放骨折と診断され処置を受けた。 原因について、確認中。 今後、原因を調査すると共に、再発防止対策を検討する。</p> <p>※クローラ:履帯</p>	G II	2月7日